

御嶽山（3067m） 田ノ原よりピストン

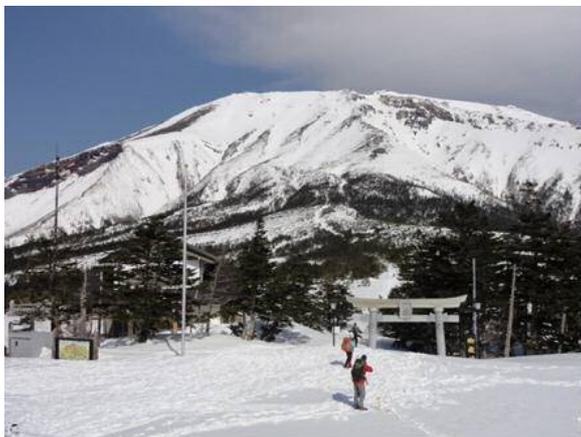
2013年4月14日(日)

リーダー：磯部S メンバー：磯部N、山口、小池N

春山に向けてアイゼン歩行など雪山での基本トレーニングを行なうため、この時期でもたくさんの雪をまとう御嶽に向かった。登山口である田ノ原（標高2 2 5 0 m）への林道は冬期閉鎖されているため、スキー場駐車場に車を停めゴンドラを利用する。8時運転開始のため、ゆっくりとスタート。登山者よりもはるかに山スキーヤー、特にボーダーが多い。



ゴンドラ終点、すでに標高2 2 4 0 m !



田ノ原よりでっかい御嶽山を見る。中央尾根の左斜面を直登。

雪に半分近く隠れた田ノ原の鳥居をくぐって、快晴の御嶽頂上に向かってひたすら登り続ける。疎林帯を抜けきる手前でアイゼン装着し、長い雪の斜面に刻まれたたくさんのトレースを追う。右に夏道だろ岩が露出している尾根筋が続く。締まった雪にワカンも必要なく、快適に高度を上げているはずだが近くて遠い王滝の宿舎がなかなか大きくなる。3 0 0 0 m近くなると、疲労なのか高度障害なのかペースがダウンし始める。



ひたすら単調な登り。雪は締まっていてワカンは必要なし。



上部に点々と人影が。地平線の向こうが頂上。

王滝に着いたころから風は強くなり、雲行きも怪しくなってきた。大休止の後、頂上に向かうが、耐風姿勢のトレーニングをするほどの強風となった。新人にとっては息も絶え絶えの登頂、しかしそれでも雪山3 km、がんばった甲斐があり、感動ものです。



感動の頂上！次第にガスが濃くなっていく。



入山時の写真と比べると樹木のない雪斜面にのみガスがかかっている。

ガスもひどくなり、真っ白な世界にチラッと見えたお鉢（火口）のスケールのでかさに感動した後、即下山。視界はあっという間に10m前後、トレースがあるくらいものを、緊張を強いられた下降となる。
雪質は暖かい気候の割りにほどほどの緩みで、ひざへの負担も少ない。疎林帯に入ればガスも消え、田ノ原が姿を現しほっとした。

<タイム> ゴンドラ終点(8:30)－田ノ原登山口(8:40)－王滝(12:30)－山頂(13:00)－ゴンドラ終点(15:10)

以上 磯部S記